

書影	書名	編著者名	判型	頁	本体価格	刊行月	ISBN
	明治二十年代 透谷・一葉・露伴 日本近代文学成立期における〈政治的主題〉	関谷博 著	A5	292	3800	3	9784877374112
		透谷・一葉・露伴を統一的に論ずる枠組みを提示することで、明治20年代の日本社会が直面した政治的テーマの本質を明らかにする。					
	漱石辞典	小森陽一 編	A5	832	7800	5	9784877374105
		本辞典が掲げる全ての項目は漱石が現実に用いた言葉であり、漱石が実見し手に取り触れたことのある書物や芸術作品ばかりである。					
	弱い「内面」の陥穽 芥川龍之介から見た日本近代文学	篠崎美生子 著	A5	447	3800	5	9784877374136
		日本近代小説がその原点に抱え込んでいる「弱い内面の平等性の発見」を芥川テキストとその流通のさまをモデルに明らかにする。					
	蓮田善明論 戦時下の国文学者と〈知〉の行方	奥山文幸 編	A5	280	3200	9	9784877374150
		戦時下の保田與重郎とともに日本浪漫派のなかで最も難解といわれた国文学者蓮田善明の時代的営為の解明を気鋭の研究者が試みる。					
	万葉歌の環境と発想	近藤健史 著	A5	560	12000	3	9784877374129
		環境が作歌する者の発想と係わり、そのように表現を規制し特徴づけているのか、その過程や思考について論考する。					
	狭衣物語 文学の斜行	井上眞弓 編	A5	352	7000	5	9784877374143
		文学史的縦の観点、同時代的横の観点を超えて、「斜行」という批評的視座から平安後期物語を読む。					